

小売業界での各業態のイメージと現状

田村優貴

要旨本文

卒論のテーマとして「小売業界での各業態のイメージと現状」をテーマにしアンケートを用いて研究をした。アンケート用紙に質問1から質問16を置き回答者に回答を求めた。卒論では調査票における質問の意図、仮説、結果の概要を表した。そして、さらに、アンケートの質問同士をカイ二乗検定を用いて質問同士の因果関係を調べた。因果関係があったものだけを抜粋していく。1つめに説明変数に性別を置き被説明変数を買い物に行く時間帯を置いたカイ二乗検定は有意水準となった。すなわち性別によって買い物に行く時間帯は変わっているということが分かった。2つめに説明変数に性別を置き被説明変数を一回の買い物に使う金額を置いたカイ二乗検定は有意水準となった。この結果から性別によって使う金額は変わってくる事が分かる。3つめに説明変数に年齢を置き被説明変数を普段利用するお店を置いたカイ二乗検定は有意水準となった。この結果から若い人はコンビニに行くのが大半でその次にスーパーに行く結果だったが年代を重ねるにつれてコンビニとスーパーの結果が逆転し50代になると83%の人がスーパーを利用している結果となった。